

12/20 (月) 明治安田生命保険相互会社 包括連携協定締結式及び「私の地元応援募金寄附金」贈呈式

町と明治安田生命保険相互会社は、相互の人的・物的資源を活用して、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、町民の健康増進や町民サービスの向上等を図ることを目的として、包括連携協定を締結しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、同社の社員の皆様が町のために募った「私の地元応援募金寄附金」の目録贈呈が行われました。

今後は、町が実施する健康増進や安心・安全な暮らしに関する事業等において、相互の連携・協働による活動を推進していきます。



1/13 (木) 水戸ヤクルト販売株式会社 福祉ヤクルト 消毒スプレーなど寄贈



水戸ヤクルト販売株式会社より、商品の売り上げの一部を寄付する「福祉ヤクルト」の活動として、消毒スプレーのミストガン（6台）、エタノール（16リットル×2缶）、アイソレーションガウン（120枚）、フェイスシールド（フレーム30個、シールド90枚）が寄贈されました。

今回の寄贈品は、役場窓口および町総合福祉センター「ゆうゆう館」で新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために使用されます。

1/25 (火) おいしい給食に「おかわり！」の笑顔 町畜産部会 町内学校給食に食材を提供

1月25日(火)から28日(金)の町内学校給食の献立に、茨城町畜産振興会の酪農部会・養豚部会・養鶏部会から提供された食材が登場しました。

当部会は、町内の畜産農家で構成されており、毎年消費拡大運動として畜産物のPRを実施しています。今回は給食に食材を提供することで、子どもたちに畜産への興味を持ってもらえる活動にしようと企画されました。

25日(火)に提供されたビスキーパンを食べた児童は、「甘くておいしい。」「バターのいいにおいがする。」と笑顔いっぱい喜んでいました。

提供日	献立	提供品
25日(火)	ビスキーパン	バター (酪農部会)
26日(水)	豚の生姜焼き	豚肉 (養豚部会)
27日(木)	チーズ	チーズ (酪農部会)
28日(金)	ベーコンエッグ	卵 (養鶏部会)



(撮影 大戸小)

12/16 (木) 日立建機日本株式会社 「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を締結



町は、日立建機日本株式会社との間で「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害が発生した場合に、被災者の応急救助等に係るレンタル機材の提供をいただくための相互協力等を定めたものです。

日立建機日本株式会社は、県内に支店及び複数の営業所を有していることに加え、令和3年3月には、茨城中央工業団地において水戸南営業所が操業を開始したところであり、本協定の締結により、災害対応の更なる体制強化が期待されます。

12/17 (金) NPO法人ひぬま生態系再生プロジェクト 「関東・水と緑のネットワーク拠点」選定



NPO法人ひぬま生態系再生プロジェクト（中村史朗代表）及び「涸沼沈水植物再生実験場」が、令和3年11月28日(日)に町内で初めて「関東・水と緑のネットワーク拠点」に選定され、表彰を受けました。

「関東・水と緑のネットワーク」は、一般社団法人関東地域づくり協会と公益財団法人日本生態系協会によって主催され、身近な自然とそのつながりを守り育てる取組みを応援し、生物多様性の保全・再生に資する活動を行っている団体を支援しています。今回の表彰を受け、中村さんは、「かつて涸沼に自生していた植物の保存と増殖を目指し、今後も活動に取り組みたい。」と語りました。

12/12 (日) 茨城町家庭排水対策協議会 水質浄化活動功労者表彰



クリーンアップひぬまネットワーク主催の「第21回ひぬま環境フォーラム」において、涸沼の水質浄化に携わり、著しい功績のあった方々を称える水質浄化活動功労者表彰が行われました。

町からは、水質浄化活動功労団体として、茨城町家庭排水対策協議会（藤枝栄子会長）が表彰されました。

同協議会は、環境にやさしいアクリルたわしの製作及び配布などにより、家庭排水対策について広く啓発を行うとともに、涸沼湖岸清掃などのさまざまな水質浄化活動に取り組んでおり、その功績が称えられました。

12/16 (木) 肉牛生産技術の粋を集めた「茨城町肉用牛枝肉共励会」開催



町内の畜産技術向上を目的とした「令和3年度茨城町肉用牛枝肉共励会」が、令和3年12月13日(月)から16日(木)にかけて開催されました。

共励会には町内肉用牛生産者が丹精を込めて育てた肉用牛36頭（和牛25頭、交雑種11頭）が出品され、16日に行われた褒章授与式において、橋本畜産株式会社が出品したA5ランクの常陸牛が名誉賞を受賞しました。